

学術情報基盤の共同

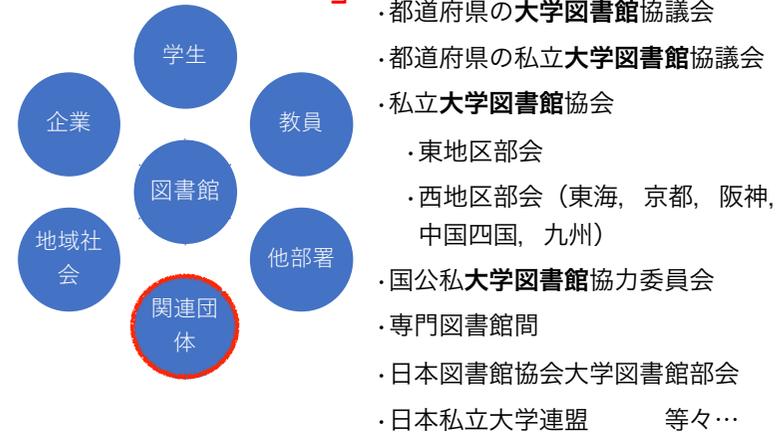
NACSIS-CAT/ILL
(ERDB, JUSTICE, JPCOAR…)

2019研修分科会 第4回

2019.10.3
NPO法人大学図書館支援機構 高野真理子

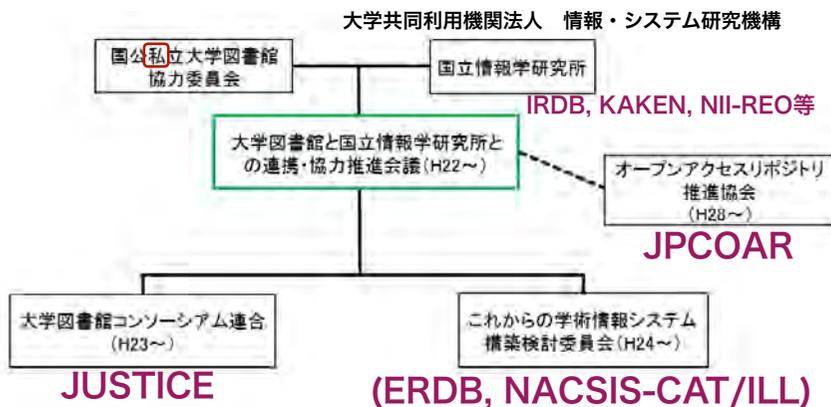
1

関連団体(大学図書館間)



2

関連団体間の連携・協力



3

NACSIS-CAT/ILL

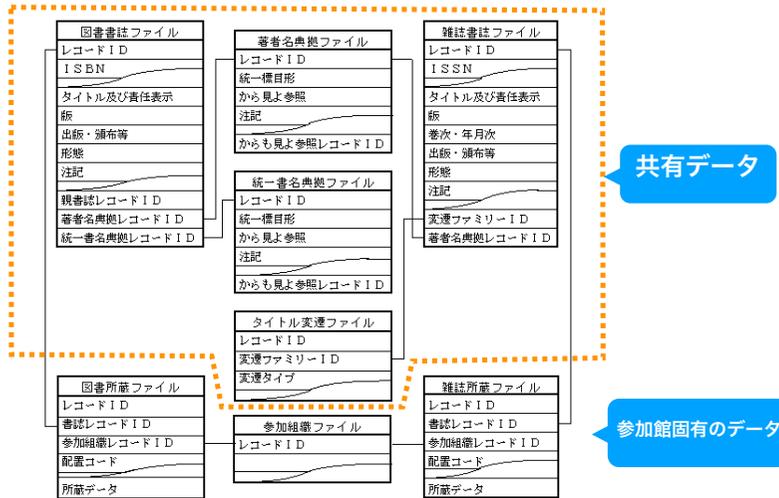
目録所在情報サービスの歴史

| 年号 | 主な出来事 |
|------|---|
| 1953 | NACSIS前史 (『学術雑誌総合目録』創刊) |
| 1984 | 東京大学文献情報センター(1986~学術情報センター, 2000~国立情報学研究所)のもと, NACSIS-CAT稼働 |
| 1992 | NACSIS-ILL稼働 |
| 1998 | Webcatサービス開始(2005~Webcat Plus) |
| 2008 | 所蔵レコード1億件突破 |
| 2011 | CiNii Booksサービス開始(Articlesは2004~) |
| 2020 | 「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化」予定 |

<https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/history.html> より抜粋

4

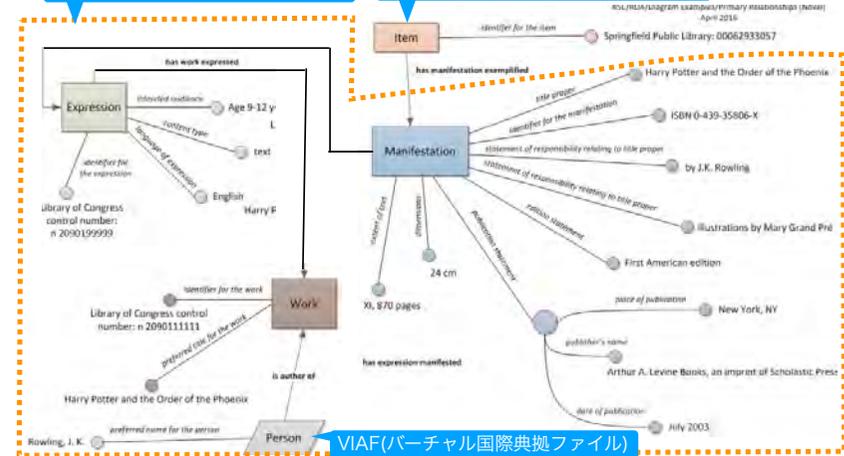
共有データと参加館固有のデータ



RDA「関連」の考え方 Resource Description & Access

書誌ユーティリティ

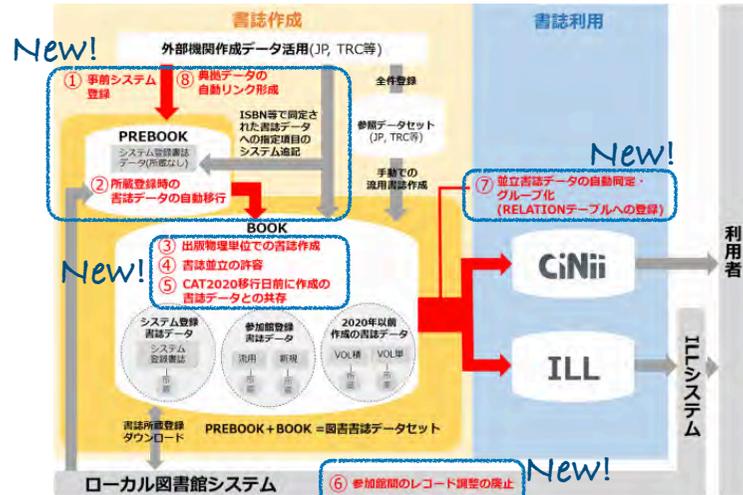
ここを協働すれば、目録は楽になる 個々の図書館で管理するのはItemのみ



図書書誌作成に関する「軽量化・合理化」

CAT2020 (最終まとめ)

2018年10月



共同分担・資料共有の理念

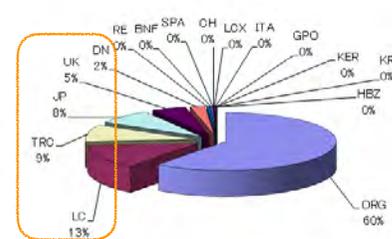
“One for all, all for one”

91.6%は所蔵登録だけ

非カバー率 所蔵登録件数/書誌登録件数 2018年度

図書 11,630,660/137,877,650 = 約8.4%

雑誌 351,841/4,642,895 = 約7.6%



データの品質・信頼性をみんなで支えていく!

8.4%の内の37%(全体の3.1%)がシステム登録できることが合理化?